



千葉県議会議員 佐倉市・酒々井町選出

入江あき子

2024年
県議会報告
冬号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

いのちと暮らし、守り抜く

—— 当事者の声を政策につなげます ——

県 人的資源に限られる中で、保健所の機能強化を図るためには、更なる業務効率化を進めていく必要がある。外部コンサルタントを活用して4保健所（印旛・習志野・山武・安房）において36業務を対

入江 コロナが感染症法5類に移行して半年が経過したが、11月以降も微増傾向にあり、季節性インフルエンザも感染拡大するなど例年とは違う動きがみられる。保健所の体制強化が喫緊の課題だ。県は保健所の業務改善にどのように取り組んでいるのか。

進む！ 保健所の業務改善



12/13 健康福祉常任委員会

12月議会では、台風13号接近に伴う大雨被害への対応や物価高騰対策の補正予算が可決成立。一方、熊谷知事が公約に掲げた「多様性尊重条例」は活発な議論を経て賛成多数で成立しました。所属の健康福祉常任委員会では、保健所の業務改善やがん対策、県立病院における医師確保について取り上げました。詳しくは、QRコードからご覧になれます。→



2023年度千葉県補正予算
238億6600万円

12月定例県議会（11/22～12/19）
健康危機対策
命と健康を守る最前線
保健所はいま

- ※5業務
- ① 特別児童扶養手当等の認定
- ② 母子父子寡婦福祉資金の認定・貸付決定
- ③ 飲食店営等々の営業許可
- ④ 感染症法に基づく結核登録票の記録等
- ⑤ 結核患者の精密検査の実施

入江 今後、委託調査の結果を受けて、どのように進めていくのか。県 残りの31業務についてICT

入江 オンラインによる届出が進まない理由をどのように把握しているのか。

入江 オンラインによる発生届の実施状況はどうか。県 全ての医療機関が届出対象となる麻しんなどの全数把握疾患について、直近の8週間（10/9～12/3）では、県保健所への届出200例のうち、オンラインによる届出は54例で全体の約27%。また、季節性インフルエンザなどの定点把握疾患については、12/11時点で定点医療機関211施設のうち、オンラインによる届出は92施設で約44%だった。

入江 オンラインによる発生届の届出を行うよう依頼している。入江 オンラインによる発生届の届出は54例で全体の約27%。また、季節性インフルエンザなどの定点把握疾患については、12/11時点で定点医療機関211施設のうち、オンラインによる届出は92施設で約44%だった。

入江 オンラインによる発生届の届出は54例で全体の約27%。また、季節性インフルエンザなどの定点把握疾患については、12/11時点で定点医療機関211施設のうち、オンラインによる届出は92施設で約44%だった。

化などによる対応が効果的と考えられるので、デジタル局と連携し、電子申請システムやローコードツールの活用によるオンライン化などについて検討していく。入江 非常に重要な業務改善の取り組みだ。コロナに変わる新興感染症も見据え、しっかりと機能強化に向けて進めてほしい。

感染症の発生届 進まないデジタル化

入江 コロナ感染拡大時、FAXによる発生届が、保健所の業務をひび寄せた。第6波オミクロン株の感染爆発時（2021年11月からの8カ月間）には、延べ2万650人の県応援職員が全庁から

入江 コロナ感染拡大時、FAXによる発生届が、保健所の業務をひび寄せた。第6波オミクロン株の感染爆発時（2021年11月からの8カ月間）には、延べ2万650人の県応援職員が全庁から

入江 コロナ感染拡大時、FAXによる発生届が、保健所の業務をひび寄せた。第6波オミクロン株の感染爆発時（2021年11月からの8カ月間）には、延べ2万650人の県応援職員が全庁から

入江 コロナ感染拡大時、FAXによる発生届が、保健所の業務をひび寄せた。第6波オミクロン株の感染爆発時（2021年11月からの8カ月間）には、延べ2万650人の県応援職員が全庁から

入江 コロナ感染拡大時、FAXによる発生届が、保健所の業務をひび寄せた。第6波オミクロン株の感染爆発時（2021年11月からの8カ月間）には、延べ2万650人の県応援職員が全庁から



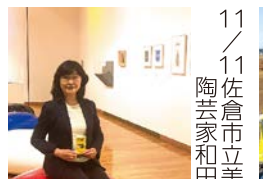
11/9 佐倉市生涯大学文化祭



11/11 佐倉・産業大博覧会



11/14 千葉県社会福祉大会



11/11 佐倉市立美術館 陶芸家和田的（あきら）展



11/16 印旛沼流域 かわまちづくり現地調査



酒第11426回 酒々井ふるさと祭



11/1 県立幕張総合高校



12/15 千葉県視覚障害者福祉協会訪問

12/13 健康福祉常任委員会 がん対策を推進

実現させました
令和5年度から2つの新事業を創設
市町村の助成制度をバックアップ
がん患者アピアランスケア支援事業
→11月時点で11市に拡大
若年がん患者在宅療養支援事業
→11月時点で9市に拡大
*佐倉市では11月から両事業をスタートさせ、順調な滑り出しとのこと。

引き続き取り組みます
職域がん検診の実施率向上に向けた取組
→民間事業者への周知啓発、商工団体等へのメールマガジンによる周知。
協会けんぽの特定健診と自治体のがん検診の同時受診
→同時受診を希望する市町村と協会けんぽとの協議の場を設定するなど県が仲介的な役割を果たしていく（現在、木更津市のみで実施）

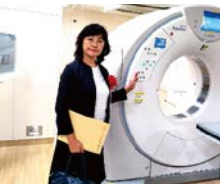
活動報告
まずは現場へ

10/13 総務部

- 地方創生臨時交付金を活用しタイムリーな物価高騰対策を実施
- 多様な働き方をすすめるためのテレワークの推進
- 安心して働ける職場づくりのためのハラスメント相談対応



10/17 病院局



- 医師の働き方改革について
 - チーム医療のための看護師の専門性の向上
 - がんセンターにおける患者の相談支援の充実について
- 10/14 11月開院千葉県総合救急災害センター



10/17 健康福祉部

- コロナ感染症対策について
- 在宅医療を支える体制強化



10/30 県警本部

- 女性警察官の登用
- 性別にかかわらず働きやすい職場環境に
- 交番・駐在所の施設整備について



10/30 教育庁

- 特別支援学級教員の専門性向上について
- 県立定時制高校の定員内不合格、中途退学、就労支援について



11/7 商工労働部

- 中小企業の事業転換に県が独自補助



11/7 環境生活部



- 浄化槽の法定検査受検率の向上について
 - 印旛沼の水質保全について
 - 県立美術館の活性化
- 11/14 千葉県立美術館テオ・ヤンセン展



令和4年度一般会計・特別会計を認定 決算審査特別委員会で審査しました



決算審査特別委員会が7日間行われ、各部局において質疑しました。それぞれの答弁要旨はホームページか QR コードからご覧になれます。

11/7 人事委員会

- 専門職確保に向けた採用試験の改善



11/10 企業局



11/11
北環状線の開通を妨げる
産廃不法投棄現場

- 千葉ニュータウン事業北環状線について
- 企業局所有の保有土地・未処分土地について



11/10 農林水産部



- 有機農業について
- 洪水対策としての田んぼダム
- 農業と福祉の連携

7/14 障害のある人も共に働く農場「生活クラブ虹と風のファーム」



11/13 防災危機管理部

- 県内消防本部における消防車両等の整備状況について
- 印旛地域における消防広域化について



11/13 県土整備部



- 建設工事における入札契約制度の見直し結果について
 - 緊急浚渫推進債を活用した河川の浚渫について
- 9/30 浚渫が決まった鹿島川



多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例

立憲民主党 賛成討論

**12/19
多様性尊重条例
賛成多数で可決成立
2024年1月施行**

自民党 反対1人
棄権8人
共産党 反対4人

会派としてダイバーシティ（多様性）条例の制定に向けて取り組んできました。本会議では「本条例は多様な立場や価値観を持つ方々が合意したぎりぎりの一歩。ともに一歩前への前進しよう」と賛同を呼びかけました。



10/31 多様性尊重条例制定に係る要望書を富沢総合企画部長と手交

決算認定への賛成討論 11/29



令和4年度は、熊谷県政のもと新たに策定された総合計画に基づき、施策が展開されました。委員会の中で指摘した改善点や提案について、今後の事業執行や予算編成に反映するように求め、決算認定に賛成しました。

賛成理由

新型コロナウイルスや物価高騰に対し、地方創生臨時交付金を有効活用して様々な分野での対策を行ってきたこと。

職場環境の整備、生産性の向上につながる働き方改革を進めてきたこと。

- ・知事部局におけるテレワークの積極的な環境整備
- ・ハラスメント対策の推進

- ・病院局における医師の時間外勤務縮減に向けた着実な取組

- ・警察本部における女性割合や男性育休取得率の早期目標達成など

農業、水産業、商工業の持続的発展や雇用における積極的な取組が見られたこと。

- ・農業の多様な担い手の確保・育成
- ・有機農業や農福連携の推進
- ・自然災害に備えた収入保険への加入促進
- ・新規スマート水産事業
- ・県独自の中小企業事業再構築支援補助など

成田空港の脱炭素化や教育環境の充実など、次世代に向けての意欲的な取組が見られたこと。

- ・航空機用再生燃料 SAF(サフ) 導入に向けての調査研究
- ・小学校専科教員の着実な増員
- ・工業系高校人材育成コンソーシアム千葉など

国への意見書を提出しました

- 「誰もが安心してらせる社会の実現」を求める意見書
- パレスチナ情勢に関する意見書
- 2025 大阪・関西万博について責任をもった対処を求める意見書
- 旧統一教会等による被害の防止・救済を求める意見書

2月県議会の予定 開会2/14(水)～閉会3/15(金)

- 2/20(火)～22(木)、26(月)～29(木) 代表質問・一般質問
- 3/4(月)～6(水) 予算委員会
- 3/7(木)、8(金)、11(月)、12(火) 常任委員会

12月補正予算

補正予算 148 億 600 万円

- 災害による被害への対応 72 億 3200 万円
- 給与改定にかかわるもの 75 億 7400 万円

追加補正予算 90 億 6000 万円

- 国の総合経済対策を受けての物価高騰への対応

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)
電話 /043-420-8758
fax /043-420-8759
mail/akiko.machi3@gmail.com

いのちと暮らし、守り抜く

詳しくはこちらをご覧ください
入江あき子サイト <https://irieakiko.jp/>



プロフィール

1965年
宮城県仙台市生まれ
1988年
国際基督教大学(ICU)
教養学部社会科学科卒業
2003年4月～
佐倉市議会議員
2011年4月～
千葉県議会議員

現在

千葉県議会議員 4 期目
健康福祉常任委員会委員
会派「立憲民主党千葉県議会議員会」会長
立憲民主党千葉県連 副幹事長・組織委員長
連合千葉議員団会議所属
千葉県地方自治研究センター所属
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
千葉県議会不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟
全国災害ボランティア議員連盟所属